

株式会社 北村工務店

2024年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年 10月～2024年 9月)



発行日： 2024年12月19日

修正日： 2025年 1月 8日

修正日： 2025年 2月20日

I. ごあいさつ

株式会社北村工務店は、昭和36年の設立以来、建築工事業を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。全従業員が地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより、美しい国土の維持、人と環境が共存する社会を目指して取り組んでまいります。

環境経営方針

当社は、建築工事、土木工事の各事業分野において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進します。
3. 廃棄物の削減を推進します。
4. 建設リサイクル、再生資源の利用を推進します。
5. 水使用量の削減を推進します。
6. 環境に配慮した施工を推進します。
7. 人材の確保と育成を推進します。
8. ICT化による業務の効率化を推進します。
9. 地域美化活動への参画を推進します。
10. 全従業員に環境負荷軽減の意識を高めさせ、
本方針を周知徹底し、継続的な改善に努めます。

制定日：2016年5月1日

改訂日：2019年9月1日

改訂日：2021年2月19日

改訂日：2025年2月20日

代表取締役社長 北村 聡一郎

Ⅱ. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 北村工務店
代表取締役社長 北村 聡一郎
- (2) 所在地
本 社 〒670-0055 兵庫県姫路市神子岡前1丁目1番15号
資材センター 〒670-0065 兵庫県姫路市上手野字山吹267番1号
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先
責任者 総務部部长 田尻 智 T E L : 079-292-3001
担当者 総務部 惣田 健太郎 Email : k-souda@kitamura-k.co.jp
- (4) 事業内容
建設工事業・土木工事業
許可番号 兵庫県 第451088号 許可年月日 2022年5月21日
許可期限 2027年5月20日
許可品目: 土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、舗装工事業

(5) 事業の規模

設立 1961年4月1日
資本金 5,000万円
売上高 36億円(2024年度実績)

各事業所の規模

	本社	資材センター	合計
従業員	40名	無人	40名
敷地面積	657㎡	7,279㎡	7,936㎡
延べ床面積	1,064㎡	497㎡	1,561㎡

- (6) 事業年度 10月～翌年9月

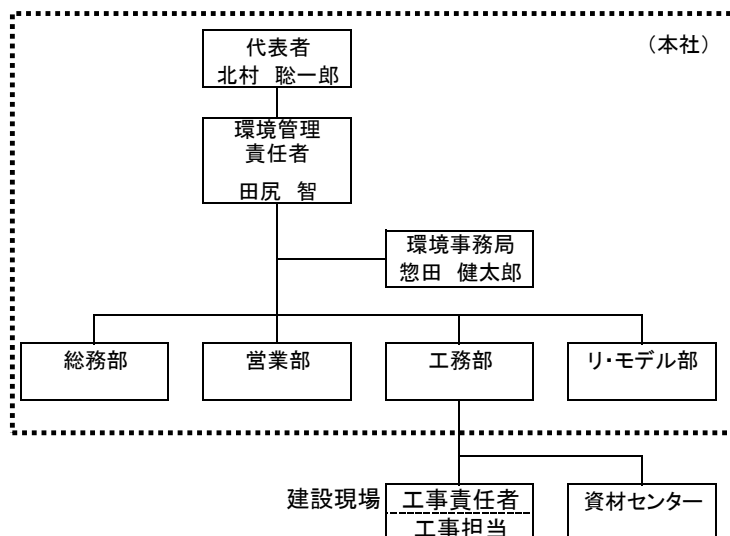
Ⅲ. 認証・登録の対象範囲

登録組織名: 株式会社 北村工務店

対象事業所: 本社
資材センター

活動: 土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、舗装工事業

IV. 実施体制図 及び 役割・責任・権限



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営方針・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認 ・経営の課題とチャンスの整理、明確化
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営方針・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営方針、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む） ・環境経営レポートの作成、公開(事務所への備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・特定された項目の運用管理 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
工事責任者 (工事代理人)	・建設現場における環境経営システムの実施 ・工事担当者及び協力会社に対する教育訓練の実施 ・建設現場の環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・緊急事態対応訓練の実施、記録の作成 ・建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

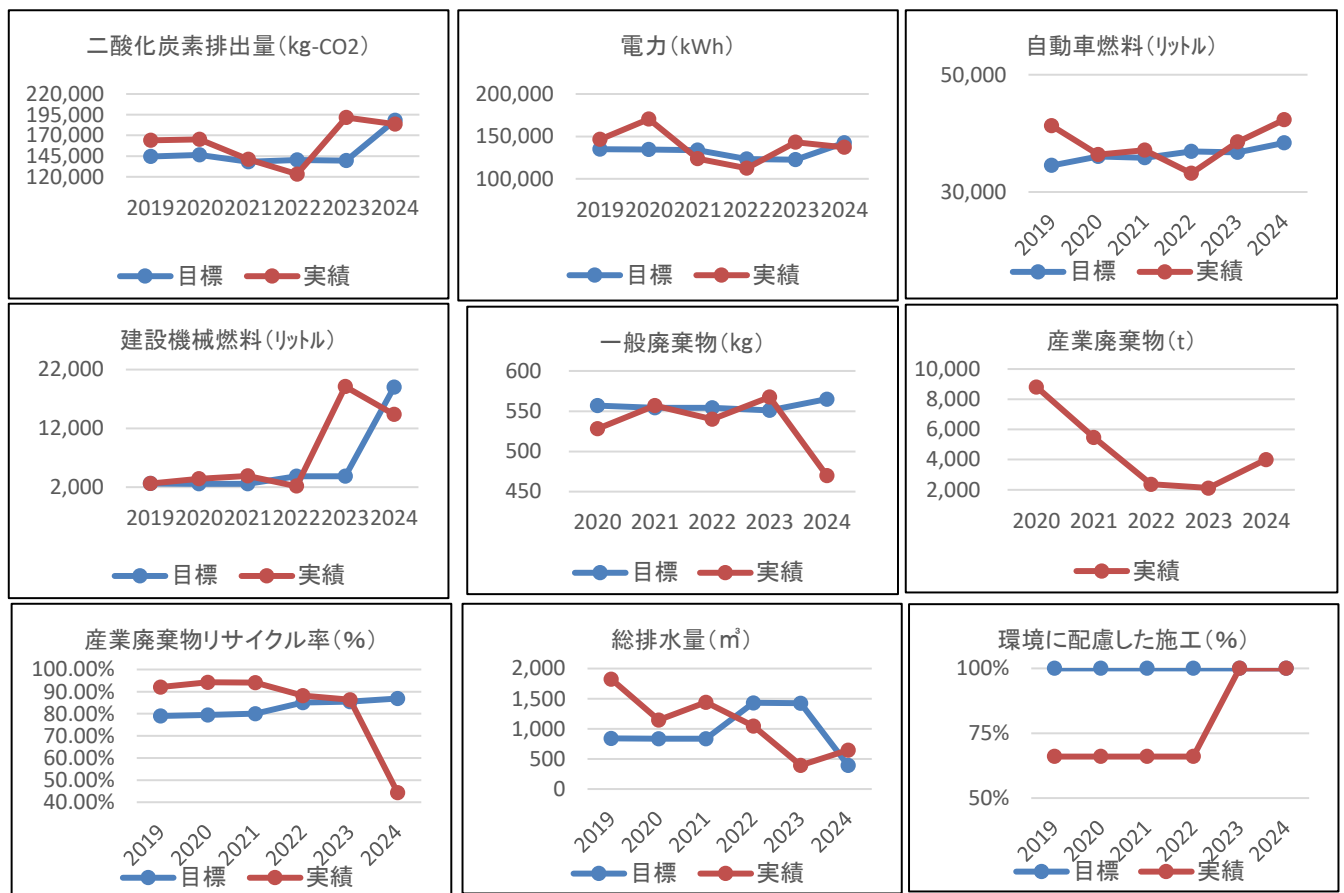
Ⅵ. 主な環境目標と実績推移

(1) 実績推移

項目	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	目標	144,398	146,624	138,215	140,260	139,556	188,079
		実績	164,065	165,369	140,965	123,276	191,603	183,431
電力	kWh	目標	135,073	134,369	133,666	123,188	122,569	142,481
		実績	146,397	170,418	123,807	112,494	143,197	137,193
自動車燃料 (ガソリン)	リットル	目標	34,525	36,045	35,863	36,943	36,758	38,375
		実績	41,272	36,372	37,129	33,188	38,568	42,335
建設機械燃料 (軽油)	リットル	目標	2,595	2,581	2,568	3,860	3,840	19,006
		実績	2,631	3,439	3,879	2,154	19,102	14,364
一般廃棄物	kg	目標	560	557	554	554	551	565
		実績	508	528	557	540	568	470
産業廃棄物	t	実績	4,169	8,826	5,482	2,375	2,127	4,005
産業廃棄物 リサイクル率	%	目標	79.00%	79.50%	80.00%	85.00%	85.50%	86.88%
		実績	92.14%	94.23%	94.03%	88.27%	86.38%	44.33%
総排水量	m ³	目標	843	838	834	1,432	1,425	392
		実績	1,825	1,144	1,439	1,047	394	648
環境に配慮した 施工	%	目標	100%	100%	100%	100%	100%	100%
		実績	66%	66%	66%	66%	100%	100%

※2022年から目標の基準値を2021年実績に変更

※化学物質の使用はありません



	年	2022年	2023年	2024年	2025年
求人採用者数	目標	8名	7名	6名	5名
	実績	3名	3名	2名	-
Kitamura アカデミー	目標	問題点の改善 100%	アカデミー推進	アカデミー定着	新たな取組み
	実績	0%	100%	100%	-
ICT化による業務の 効率化	目標	ペーパーレス化 25件	情報セキュリティ 構築完成	全社 ペーパーレス化	新たな取組み
	実績	ペーパーレス化 7件	ペーパーレス化 26%	10%	-

(2) 中期目標

年 度		基準年度 (2023年)	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
項 目	kg-CO ₂	189,024	188,079	187,134	186,189	185,244
	対基準		△0.5%	△1.0%	△1.5%	△2.0%
電力使用量削減	kWh	143,197	142,481	141,765	141,049	140,333
	対基準		△0.5%	△1.0%	△1.5%	△2.0%
自動車燃料(ガソリン) 使用量削減	L	38,568	38,375	38,182	37,989	37,797
	対基準		△0.5%	△1.0%	△1.5%	△2.0%
建設機械燃料(軽油) 使用量削減	L	19,102	19,006	18,911	18,815	18,720
	対基準		△0.5%	△1.0%	△1.5%	△2.0%
Ⅱ. 廃棄物の削減 一般廃棄物 削減	kg	568	565	562	559	556
	対基準		△0.5%	△1.0%	△1.5%	△2.0%
建設リサイクル率の向上	%	86.38	86.88%	87.38%	87.88%	88.38%
	対基準		+0.5%	+1.0%	+1.5%	+2.0%
Ⅲ. 水使用量削減	m ³	394	392	390	388	386
	対基準		△0.5%	△1.0%	△1.5%	△2.0%
Ⅳ. 環境に配慮した施工	%	100% (2016年度)	100%	100%	100%	100%
Ⅴ. 求人採用者数	人数	7	6	5	3	3
Ⅵ. Kitamura アカデミー	-	アカデミー 推進	アカデミー 定着	-	-	-
Ⅶ. ICT化による業務の 効率化	-	情報セキュリティ 構築完成	全社 ペーパーレス化	-	-	-

注) 電力の二酸化炭素排出係数は、2020年の関西電力の調整後排出係数0.351kg-CO₂/kWhを使用。

注) 環境に配慮した施工とは、騒音・振動防止、粉塵防止、現場移動のエコドライブ。

Ⅶ. 環境目標及びその実績

(1) 2024年度の目標と実績

取組項目		単位	2023年度	2024年度実績			
			基準値	目標	実績	目標値対比	評価
C O 2 排出量削減	二酸化炭素 排出量	kg-CO ₂	189,024	188,079	183,431	102.5%	○
		削減%	-	△0.5%	△3.0%	-	
	電気使用量	kWh	143,197	142,481	137,193	103.9%	○
		削減%	-	△0.5%	△4.2%	-	
	自動車燃料 (ガソリン)	ℓ	38,568	38,375	42,335	90.6%	△
		削減%		△0.5%	9.8%	-	
	建設機械燃料 (軽油)	ℓ	19,102	19,006	14,364	132.3%	○
		削減%	-	△0.5%	△24.8%	-	
一般廃棄物 排出量削減		kg	568	565	470	120.1%	○
					(再資源化量 135.0)		
		削減%	-	△3.0%	△17.3%		
建設リサイクル率 向上		%	86.38%	86.88%	44.30%	51.0%	×
		向上率	-	+0.5%	△42.08%	-	
産廃総排出量		t	※ 2,126.59	-	4,005.47	-	
再資源化量		t	※ 1,836.93	-	1,775.65	-	
水使用量削減		m ³	394	392	648	60.5%	×
		削減%	-	△0.5%	64.5%		
環境に配慮した施工		%	100%	100%	100%	100%	○
			(2023年度)	-	-	-	
求人採用者数		人数	-	7名	2名	28.6%	×
Kitamura アカデミー		アカデミー 定着	-	改善100%	改善100%	100%	○
ICT化による 業務の効率化		全社 ペーパーレス化	-	改善100%	改善10%	10%	×

※基準値として、一般廃棄物は2017年度実績を使用

※目標値対比は、目標÷実績で計算。但し、建設リサイクル率及び環境配慮施工は、実績÷目標で計算

※環境に配慮した施工 ①低騒音・低振動型の重機を使用、②散水等による飛散防止を実施、
③現場移動時のエコドライブ

評価欄 ○:達成(100%以上) 、 △:やや未達成(90%以上 100%未満) 、 ×:未達成(90%未満)

VIII. 環境活動の分析及び今後の方向

取組項目		活動計画	評価	取組結果の分析及び今後の方向
CO ₂ 排出量削減	CO ₂ 排出量削減	※下記の通り。		工事の作業内容によって、燃料や電気の使用状況は一変してしまうので、今後も節電・節約の意識を高めていく。
	電気使用量の削減	①空調温度の適正化	○	本社及び現場事務所では節電意識は浸透し目標達成。しかしながら、大型工事の仕上作業が集中した時期の使用量は多くなるので、引き続き、無駄使いをしないように、現場巡回時に確認する。
		②昼休みや不在時の消灯	○	
		③設備の空運転禁止	○	
	自動車燃料（ガソリン）使用量の削減	①急発進、急停車の抑制	○	社員の増加、遠方の現場も増加したことにより目標未達。今後もPC及び関連システムを利用することで少しでも本社との移動回数を減らせるような工夫が必要である。
		②アイドリングストップ	○	
		③空気圧、オイル等の点検	○	
	建設機械燃料（軽油）使用量の削減	①重機の空ふかしの禁止	○	引き続き、無駄使いが無いよう削減活動を徹底する。
		②アイドリングストップ	○	
		③空気圧、オイル等の点検	○	
一般廃棄物排出量削減		①分別によるリサイクルの推進	○	ミスコピーの防止や裏紙利用などを徹底。引き続き意識付けを徹底する。
		②ミスコピーの防止	○	
		③裏紙の使用	○	
建設リサイクル率向上		①分別によるリサイクルの推進	×	リサイクル・仮設資材の推進が浸透しきれなかった。再度、分別を徹底する。
		②仮設資材の再利用の推進	×	
水使用量削減		①節水の周知徹底	×	現場での使用増加。無駄な使用がないように節水を徹底する。
		②垂れ流し禁止	○	
環境に配慮した施工		①騒音・振動 対策	○	今後も着工前に工事現場内外の環境も把握しておく。
		②粉塵対策	○	
		③燃料消費対策	○	
求人採用者数		①インターンシップ	○	インターンシップで学生との交流をはかることができた。今後も継続して活動を行う。募集媒体の見直しも行っており採用につなげたい。
		②求人サイトの見直し	○	
Kitamuraアカデミー【問題改善】		①Kitamuraアカデミーの定着	○	定期的な実施によりKitamuraアカデミーが社員に浸透しつつある。今後も定期的に見直しを行う。
ICT化による業務の効率化		①NIコラボの活用	○	NIコラボの活用で社員間の情報共有など行っている。ICT化推進によるペーパーレス化は実施したが、進捗悪く今後も推進行う。
		②ICT化の推進	×	

Ⅸ.太陽光発電事業

北村工務店では、資材センターの敷地を利用し、2014年8月から太陽光発電事業を開始しました。



2014年8月竣工

発電出力：約500kW
(一般住宅 約160軒分に相当)

結晶系シリコン太陽電池

1枚当たりの出力 約250ワット

パネル設置枚数：2,044枚

年間発電量実績

557,503 kWh

(2023年10月～2024年9月)



環境貢献換算

二酸化炭素
削減量

約 233トン

森林面積

約 652,763㎡
(東京ドーム 約14個分)

X. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	収集運搬・処分業者との契約、保管基準の遵守、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出、産業廃棄物処理計画&同実施状況報告書の作成・提出	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業の実施の届出、作業基準の遵守	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
道路交通法	道路占有・道路使用許可	遵守
消防法	消火設備・火災警報設備の点検整備	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制は遵守されていることを確認しました。

なお、環境法規制等に関連する訴訟や環境上の苦情等は、過去3年間ありませんでした。

XI. 代表者による全体の評価と見直し・指示

当社は、良い地球環境や自然環境を次世代に残すための取り組みの大切さを社員全員が認識し、エコアクション21に取り組んで来ました。 建設リサイクル率等、前回を下回る結果となった項目もありますが、CO2排出量削減を進めることができました。今年度はフードドライブを実施することで、環境に対する意識付けを行うことができました。 エコアクションの取り組みは会社経営においても重要なことであり、次年度も引き続きエコアクションに対する社員の理解を深めて、小さいことからでも徹底し、環境に配慮した企業運営を図っていきたいと考えております。 ・環境経営方針、及び環境経営計画、実施体制の見直しの必要はありません。 2024年12月19日 代表取締役社長 北村 聡一郎
